

はてな？つうしん

No.3

2019. 10. 2

高知市立高須小学校



イチョウの種

虫の鳴く声をききましたか？

10月になっても、30℃近くの暑い日が続きますが虫たちは秋が来ていることを知っています。トノサマバッタ、クビキリギス、オンブバッタ、イボバッタ(ドロバッタ)、クサキリ、カマキリ…どれも一年生が、高須小学校で見つけた虫たちです。



1年生の研究授業より

生活科の「いきものとなかよし」の研究授業です。ひとりがかごを大切に持っています。『もっとむしがよろこぶむしかごにしよう!』この願いをもって活動がはじまりました。昆虫図鑑や本を見たり、友だちや先生に相談したりしながら、北庭へ材料をさがして回りました。土を入れたり、水を入れたビンに草をさしてみたりと、くふうした子どもたちは、愛おしそうに自分の虫をながめてお話をしてくれていました。



イチョウの実(銀杏)

北庭のイチョウの木は、暑さのためか、夏休みからイチョウの実が落ち始めました。葉は、少しずつ黄色くなっています。

学年畑の横のイチョウの実は、これから採れます。おいしい栄養のある種が落ちたままになるのがもったいないなあと感じています。



実りの秋

校庭の植物もいろいろな形で、実りの秋を迎えています。みなさんは、いくつみつけることができるかな。



アメリカセンダングサ



ツルレイシの実



ススキの穂



クヌギの実(ドングリ)



ヌスビトハギ



コミカンソウの実